

参考文献

【韓国】

<日本語文献>

- 飯沼慶一「韓国の小学校<理科(科学)>における探求型学習『自由探究』の意義—持続可能な社会を目指す教育の視点から—」、学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究 18号』2016年、pp. 396-380
- 家井美千子「韓国 ESD 視察報告：明知大学教員との懇談・江華島干拓センター、延世大学・ソウル市内諸施設」（掲載雑誌不明、発表年不明）
- 石川裕之「韓国における教科外活動の概要とその特徴—<創意的体験活動>に注目して—」、畿央大学『畿央大学紀要 大15巻第2号』2018年、pp. 31-38
- イ・ジョンイン、ユ・ジェボン「自由学期制の「自由」の意味と教育的方向探索」『教育学研究 54巻4号』2016年、pp. 1-20
- イ・スンミ他『2022改訂初・中学校教育課程改善研究』韓国教育課程評価院研究報告 CRC2021-18、2021年
- 井出弘人「韓国<2009改定教育課程>における<学力>と<接続>—ナショナル・カリキュラムの<復権>戦略—」、長崎大学『教育学部紀要—教育科学—第76号』2012年、pp. 51-63
- イム・ジュヨン他『2022改訂初・中学校教育課程運営方案』韓国教育課程評価院研究報告 CRC2022-18、2022年
- イム・ジョンホン「自由学期制の昨日、今日、明日：自由学期制から描く未来の中等教育」『2019年自由学期制政策フォーラム報告書』2019年、pp. 1-20。
- 科学技術振興機構&中国総合研究・さくらサイエンスセンター『日中韓の教育事情に関する国際比較調査』2021年
- 金子満「韓国における初等・中等教育政策の現状と課題（1）—第7次教育課程を中心に—」、鹿児島大学『教育学部研究紀要 教育科学編 第60巻』2009年、pp. 39-50
- 北九州 ESD 協議会/RCE 北九州調査研究・国際プロジェクト『On-Line 2020韓国スタディーツアー報告書』2020年
- 教育部『初・中等学校教育課程総論』教育部告示第2015-74号、別冊1、2015年
- 教育部「報道資料」2021年11月24日
- 教育部『初・中等学校教育課程総論』教育部告示第2022-33号、別冊1、2022年
- キム・ジェチュン「自由学期制政策の回顧と省察」『国語教育学研究 第52集第3号』2017年、pp. 5-35
- 熊谷岳哉「韓国政府日本教員招へいプログラムに参加して：韓国における学校教育とESD<持続発展教育>にふれて」、ユネスコ・アジア文化センター『ACCUニュース No. 375』2009年
- 元 鍾彬、飯沼 慶一、諏訪 哲郎「韓国における環境科目開設の経緯とその後の展開」、日本環境学会『環境教育 Vol. 24-1』 pp. 21-33
- 子安潤「授業づくりを巡る韓国の教師調査に基づく研究」、中部大学現代教育学部『現代教育学研究紀要 第13号』2019年、pp. 1-12
- 坂井俊樹、金子真理子、岩田康之ほか、『東アジアの教師はどう育つか』東京学芸大学出版会、2006年
- 佐藤由美「大韓民国の学校制度とカリキュラム—<自由学期制>の導入—」、埼玉工業大学『人間社会学部 紀要 第15号』2017年、pp. 13-23
- 申智媛、『韓国の現代学校改革研究』東信堂、2017年
- Choi Suk Jin「韓国における環境教育と持続可能な開発のための教育傾向—二つの事例を通じて」（発表資料、発表年不明）
- 自治体国際化協会『韓国の教育自治 CLAI REPORT NUMBER 254』2004年
- 姜姫銀「韓国の教員養成大学における世界市民教育—中等教育居員養成課程の市民力量向上のための取り組みを中心に—」、福岡大学『福岡大学研究部論集 A21 (2)』2021年、pp. 13-20
- シン・アンナ「ビックデータを活用した自由学期制政策のキーワード及びトピック分析」ソウル大学大学院博士論文、2019年
- 田中光晴「韓国における「働き方改革」季刊教育法、No. 198、pp. 1-9、2018年
- 田中光晴「韓国のナショナルカリキュラムにおける<創意的体験活動>—特別活動と裁量活動の統合—」、日本特別活動学会『日本特別活動学会 紀要 第25号』2017年、pp. 29-38
- チョン・ヨングン他『自由学期制導入に伴う中学校教育課程の設計方案』韓国教育課程評価院研究報告 RRC2014-5、2014年。
- 鄭泰秀「特別公開講演：韓国の教育改革と教育制度の変遷」（発表雑誌不明、発表年不明） pp. 53-64
- 藤原綾子「韓国における環境教育の現状と第2次環境教育総合計画に基づく主な取り組み」、環境情報科学センター『環境情報科学 47巻4号』2018年、pp. 70-75
- 藤村和夫「II. 教科書制度と教育事情 9. 韓国」（発表雑誌、発表年不明） pp. 51-57
- 松本麻人「韓国における中学校<自由学期制>の導入—キャリア教育振興のための制度的枠組みの形成—」日本教育制度学会『教育制度学研究 第23号』2016年、pp. 170-180

三石初雄「韓国の学校教育カリキュラム改革の動向：科学科と環境科を事例にして」東京学芸大学『教員養成カリキュラム開発研究センター 研究年報 6』2007年、pp.73-82
三宅博之、宋珉鎬「RCE インジェ（韓国）が有するESD（持続可能な開発のための教育）の特徴—期待吸収ESD協議会との交流を通しての理解—」（発表雑誌、発表年不明）p.10
ヤン・ジャヨン「2022年度若手研究者国際会議派遣事業発表報告書：高校地理においてESDはどのように取り扱われているのか—韓国と日本を事例に一」、日本地理学会『E-Journal GEO Vol.17 (2)』2022年、pp.367-368
李仙景「韓国における環境科目の開設と実際の意味—内部者の評価を中心に—」、日本環境学会『環境教育 Vol.24-1』2014年、pp.34-44
李在永「特別寄稿 学校環境教育革新のための韓国の実験—15年の経験に対する評価と提言」、学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究 12号』2010年、Vol.17、pp.129-150

新聞記事は、全てビッグカインズ (<https://www.bigkinds.or.kr/>) より入手。
教育課程は、国家教育課程情報センター データベース (<https://ncic.re.kr/mobile.index2.do>) より入手。
法令は、国家法令情報センター データベース (<https://www.law.go.kr/>) より入手。

<英語文献>

Im, Sungmin. Pre-service Science Teacher Education System in South Korea : Prospects and Challenges. *Eurasia Journal of Mathematics, Science & Technology Education*, (12)7, 2016, pp.1863-1880
Korean Educational Broadcasting System (EBS), “EBS”, 2022
Korean International Development Agency, “Annual Report 2021”, 2022
Korean Ministry of Education, “The National Curriculum for the Primary and Secondary Schools”, 2015
Korean Ministry of Education, Science and Technology “The School Curriculum of the Republic of Korea”, 2009
Korean Ministry of Education and Human Resources Development, “KICE, Practical Arts (Technology and Home Economics) Curriculum”, 2007
Korean Ministry of Education and Human Resources Development, “KICE, Science Curriculum”, 2007
Korean Ministry of Education and Human Resources Development, “KICE, Social Studies Curriculum”, 2007
Korean Ministry of Education and Human Resources Development, “KICE, We Are the First Graders, Disciplines Life, Intelligent Life and Pleasant Life Curriculum”, 2007
Park, Jisun. Elementary science teacher education in Korea : past , present , and future. *Asia-Pacific Science Education*, 5, 20, . <https://doi.org/10.1186/s41029-019-0041-z> 2019
Republic of Korea, “2011-2015 National Strategy for Sustainable Development”, 2011
Sang In Kang, Jin-gyu Oh, “Korea’s Low Carbon Green Growth Strategy- Working Paper No. 310”, OECD Development Centre, 2012
Sun-Kyung Lee, Namsoo Kim, “Environmental Education in Schools of Korea: Context, Development and Challengers”, 2017, The Japanese Society of Environmental Education, “Japanese Journal of Environmental Education Vol.26-4”, pp.7-14

【カナダ】

<日本語文献>

石沢真貴「新たな時代のシティズンシップ—ポスト・シティズンシップへ向けて」、秋田大学教育文化学部『秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 76』2021年、pp.1-12
内田雄一「カナダの多民族社会：民族の共生」、埼玉学園大学『埼玉学園大学紀要 人間学部編 4巻』2004年、pp.63-75
小倉康「IV 理解の教科書 4カナダ」（掲載雑誌、発表年不明）、pp.232-243
落合知子、松田陽子「カナダの継承語資源育成のための教育実践に関する研究」、兵庫県立大学『人文論集 第49巻』2014年、pp.101-126
岸田由美「特定課題研究：多様性と共に生きる社会と人の送生—カナダの経験から—」、異文化間教育学会『異文化間教育 32号』2010年、pp.37-50
金兌恩「カナダにおける多文化教育—バンクーバーの公立小学校でのフィールドワークから—」、立教大学社会学部『応用社会学研究 No.57』2015年、pp.89-103
国際協力機構 地球ひろば『グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査（最終報告書）』2014年、国際協力機構
児玉奈々「カナダ・オンタリオ州の教員養成プログラムにおける多文化教師教育の実施状況について」滋賀大学教育学部『滋賀大学教育学部紀要 教育科学 No.72』2022年、pp.67-79
権藤真織「海外教育実地研修（カナダ・トロント）の20年のあゆみ（1）～より効果的な海外研修プログラム開発

に向けて～」、神戸親和女子大学『国際教育センター紀要 第6号』2020年、pp.51-57
 宝利尚一「カナダ多文化主義の発展と今後の課題（＜特集＞共同研究報告書：欧米諸国における多文化の問題と日本の課題）」、北海学園大学『人文論集 18』2001年、pp.41-81
 田中義隆『21世紀型スキルと諸外国の教育実践—求められる新しい能力育成』2015年、明石書店
 坪田益美「多元社会カナダにおける社会的結束に取り組むシティズンシップ教育—アルバータ州社会科の＜多様性の調整＞に着目して—」日本社会科教育学会『社会科教育研究 No.108』2009年、pp.44-57
 坪田益美「中間評価論文要旨 カナダ・社会科におけるシティズンシップの育成原理—アルバータ州を事例として—」、筑波大学人間総合科学研究科『学校教育学研究紀要 第2号』2009年、pp.177-182
 自治体国際化協会『カナダにおける義務教育制度の概要』2007年、自治体国際化協会
 自治体国際化協会『カナダの移民政策及びその主要都市への影響』（発表年不明）、自治体国際化協会
 平田淳『カナダの「開かれた」学校づくりと教育行政』2020年、東信堂。
 平田淳、溝上智恵子「カナダにおける教育行政制度の概要と教育改革の諸側面—日本における教育改革政策の視点から—」、弘前大学『教育学部紀要 第100号』2008年、pp.99-109
 松尾知明『21世紀型宿里とは何か—コンピテンシーに基づく教育改革の国際比較』2015年、明石書店
 溝上智恵子「多文化国家カナダにおける道徳教育政策の形成と推進」（科学研究費助成事業 研究成果報告書）2018年
 山田由希子、石田三成「第3章 カナダにおける国と地方の役割分担」（経済雑誌、発表年不明）

<英語文献>

CMEC, “Pan-Canadian Global Competencies, Background”, 2016.
 Global Affairs Canada, “Report to Parliament on the Government of Canada’s International Assistance 2021-2022 (Volume 1)”, 2023.
 Office of the Auditor General of Ontario. *Value-for-Money Audit: Curriculum Development, Implementation and Delivery*. 2020.
 Retrieved from https://www.auditor.on.ca/en/content/annualreports/arreports/en20/20VFM_03curriculum.pdf
 Office of the Auditor General of Ontario, *Follow-up on 2020 Value-for-Money Audit: Curriculum Development, Implementation and Delivery, 2020*. Retrieved from https://www.auditor.on.ca/en/content/annualreports/arreports/en22/1-03curriculum_en22.pdf
 Ontario Ministry of Education, *Growing Success: Assessment, Evaluation and Reporting in Ontario Schools, 2010*.
 Retrieved from <https://www.edu.gov.on.ca/eng/policyfunding/growsuccess.pdf>
 Ontario Ministry of Education, *21st Century Competencies: Foundation Document for Discussion, 2016*.
 Ontario Ministry of Education, *The Ontario Curriculum Grade 1-8 Social Studies, History, and Geography 2023*.
 Retrieved from <https://assets-us-01.kc-usercontent.com/fbd574c4-da36-0066-a0c5-849ffb2de96e/f6f2efba-a7aa-4c70-94ce-f7593a7490ca/SocialStudiesHistoryGeography-AODA.pdf>
 Ontario Ministry of Education, Educator webinars, (n.d), Retrieved from <https://www.dcp.edu.gov.on.ca/en/webinar>
 Ontario Ministry of Education, Curriculum and Resources, (n.d), Retrieved from <https://www.dcp.edu.gov.on.ca/resources/en/>
 Toronto District School Board, *Find your school*, (n.d), Retrieved from <https://www.tdsb.on.ca/Find-your/School>
 Ontario Institute for Studies in Education, University of Toronto and UNICEF, “Charting Global Education in Canada’s Elementary Schools: Provincial, District and School Level Perspectives,” 2007.
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 1 to 6, Social Studies, Grades 7 and 8 History and Geography”, 2018.
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 9 and 10, Canadian and World Studies”, 2018
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 11 and 12, First Nations, Metis and Inuit Studies”, 2019
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 11 and 12, Interdisciplinary Studies”, 2002
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 9 and 12, Canadian and World Studies”, 2018
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grade 10, Revised Course Civics and Citizenship (Canadian and World Studies)”, 2022
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grade 9, Science”, 2022
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 9 and 10, Science”, 2008
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 11 and 12, Science”, 2008
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 1-8, Science and Technology”, 2022
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 9-12, Social Science and Humanities”, 2013
 Ontario Ministry of Education, “The Ontario Curriculum Grades 9-6, Social Studies, Grades 7 and 8 History and Geography”, 2018
 Ontario, “Many Roots Many Voices – Supporting English Language Learners in Every Classroom, A Practical Guide for Ontario Educators”, 2005.
 Ontario, “Global Education for Ontario Learners: Practical Strategies – A Summary of Research”, 2018.

Ontario, “Ontario’s Strategy for K-12 International Education”, 2015.

Ontario, “Phase 1: Towards Defining 21st Century Competencies for Ontario – 21st Century Competencies – Foundation Document for Discussion”, 2016

Oxfam Education, “Session 1: Climate Connections” (授業案)

Oxfam Education, “The Human Impact of Climate Change – A teaching resource for ages 9-11” (教員用指導書)

【イギリス】

<日本語文献>

- 新井浅浩「イギリスのシティズンシップ教育」(第1回～第6回)、明るい選挙推進協会『私たちの広場』2008年
- 植田みどり「第4章 イギリスにおける多様な提供主体のパートナーシップによる教員養成」、日本教師教育学会第11期課題研究III部『多様な教職ルートの国際比較：教員不足問題を交えて』学術研究出版、2024年
- 植田みどり「諸外国の教員養成における 教員の資質・能力スタンダード」国立教育政策研究所『「次世代の学校」における教員等の養成・研修、マネジメント機能強化に関する総合的研究報告書』2018年、pp. 1-11
- 石川真理代「イングランドの学校教育制度の現状について—イングランドの公立小学校、特別支援学校、公立中等教育学校の訪問インタビューを通じて—」(発表雑誌名、発表年不明)、pp. 31-42
- 尾上選哉「英国チャリティにおけるチャリティ法人制度の検討」非営利法人研究会 交易・一般法人研究会『交易・一般法人制度の研究—日・英・米の制度の比較研究』2017年、pp. 69-82
- 小原一晃「英国における学校評価制度について」、自治体国際化協会『2013年度海外事務所インターンシップ研修報告書』2014年
- 片山勝茂「イギリスにおけるシティズンシップ教育とナショナル・アイデンティティ」(発表雑誌名・発表年不明)、pp. 19-25
- 加納寛子「イギリスのナショナルカリキュラムから得られる我が国の情報教育への示唆—コンピューターショナル・シンキングに着目して—」、日本情報教育学会『日本情報教育学会誌 vol. 2 No. 1』2019年、pp. 1-9
- 北山夕華「シティズンシップ教育と新自由主義—保守党政権下における政策と実践の検討—」、日英教育学会『紀要 日英教育研究フォーラム 26号』2022年、pp. 69-83
- 木村誠「補論1 キー・スキル (Key Skills) について」、職業能力開発総合大学校能力開発センター『公共が行う技術指導』2002年、pp. 45-54
- 清田夏代「英国における自律的学校ガバナンスと地方教育行政を巡る改革の動向—地方当局の役割と意義に関する一考察—」、日英教育学会『紀要 日英教育研究フォーラム 21号』2017年、pp. 53-69
- 国際協力機構 地球ひろば『グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査 (最終報告書)』2014年、国際協力機構
- 国立教育政策研究所『学校における持続可能な発展のための教育 (ESD) に関する研究 (最終報告書)』2012年
- 佐藤千津「教師教育の多様化政策とその展開—イギリスの「学校における教員養成」の場合—」、教師教育学会『教師教育学会年報 17巻』2008年、pp. 42-50
- 杉田かおり「イングランドのシティズンシップ教育政策にみる国民意識の形成—共通カリキュラム導入期に焦点をあてて—」、日本比較教育学会『比較教育学研究 第50号』2015年、pp. 45-65
- 田中義隆『21世紀型スキルと諸外国の教育実践—求められる新しい能力育成』2015年、明石書店
- 駐日 EC 委員会代表部広報部『月刊ヨーロッパ』2007年、pp. 10-11
- 藤井泰「イギリスにおける連立政権によるナショナルカリキュラムの見直しの動き—『ナショナルカリキュラム』(2011年)を中心に—」、松山大学『松山大学論集 第24巻 第6号』2013年、pp. 61-86
- マッシューズ、K. I (青木敬子訳)「英国のシティズンシップ教育：導入の目的と今日の実践・課題—英国のシティズンシップ・人権・ジェノサイド教育のより幅広い活用の事例」、日英教育学会『紀要 日英教育研究フォーラム 21号』2017年、pp. 23-27
- 松尾知明『21世紀型スキルとは何か—コンピテンシーに基づく教育改革の国際比較』2015年、明石書店
- 宮島健次「イギリスの教育動向—2022年3月から2023年2月まで—」日英教育学会『紀要 日英教育研究フォーラム 27号』2023年、pp. 119-135
- 盛藤陽子「学校における多文化教育に関するイギリスの学校主導型教員養成カリキュラム」、比較教育学会『比較教育学研究 59号』2019年、pp. 69-91
- 湯本浩之「欧州の開発教育の現状と課題—政策文書『欧州開発コンセンサス：開発教育と意識喚起の貢献』を手がかりとして—」、立教大学文学部教育学科『立教大学教育学科 研究年報 第53号』2010年、pp. 47-63
- 湯本浩之「英国のグローバル教育の成立と展開—ワールド・スタディーズと開発教育を中心に」、ミリアム・スタイナー (編)、岩崎裕保・湯本浩之 (監訳)『グローバル・ティーチャーの理論と実践：英国の大学と NGO による教員養成と開発教育の試み』2011年、明石書店、pp. 438-470
- 湯本浩之「日本における『開発教育』の展開」、江原裕美 (編)『内発的発展と教育：人間主体の社会変革と NGO の

地平』2003年、新評論、pp. 253-285
横尾俊、渡部愛理「イギリスにおけるナショナルカリキュラムとそれへのアクセスをだてについて」国立特別支援教育総合研究所『世界の特別支援教育 24号』2010年、pp. 43-52
吉田多美子「イギリスの教育改革の変遷—ナショナルカリキュラムを中心に—」、日本図書館協会『レファレンス平成17年11月号』2005年、pp. 99-112

<英語文献>

Bond, “Anti-Racism and Decolonising-Framework for Organisation”, (n.d) .
Bond, “Becoming Locally Led As An Anti-Racist Practice: A Guide to Support INGOs”, (n.d).
Bond, “Creating Better Engagement-A Guide for Government and Civil Society Organisations”, 2022.
Bond, “Programme Story and Reflections April 2020 to July 2021”, 2021.
Bond, “The UK’s Global Contribution to the Sustainable Development Goals-Progress, Gaps and Recommendations 2022”, 2022.
Bourn, D., “Education for Social Change: Perspectives on Global Learning”, Bloomsbury, 2022.
Bourn, D., “Research in Global Learning: Methodologies for Global Citizenship and Sustainable Development Education”, UCL Press, 2023.
Bourn, D., “The Bloomsbury Handbook of Global Education and Learning”, Bloomsbury, 2022.
Bourn, D., “Understanding Global Skills for 21st Century Professions”, Palgrave Macmillan, 2018.
CONCORD, “Global Citizenship Education in Europe: How Much Do We Care?”, 2018.
CONCORD, “Putting People and Planet First”, (n.d).
Department for Education, “Assessment Principles”, 2014.
Department for Education, “Citizenship Programmes of Study: Key Stages 3 and 4, National Curriculum in England”, 2013.
Department for Education, “Geography Programmes of Study: Key Stages 1 and 2, National Curriculum in England”, 2013.
Department for Education, “Geography Programmes of Study: Key Stage 3, National Curriculum in England”, 2013.
Department for Education, “Guidance: Personal, Social, Health and Economic (PSHE) Education”, 2021.
Department for Education, “History Programmes of Study: Key Stages 1 and 2, National Curriculum in England”, 2013.
Department for Education, “History Programmes of Study: Key Stage 3, National Curriculum in England”, 2013.
Department for Education, “National Curriculum and Assessment from September 2014: Information for Schools”, 2014.
Department for Education, “Science Programmes of Study: Key Stages 1 and 2, National Curriculum in England”, 2013.
Department for Education, “Science Programmes of Study: Key Stage 3, National Curriculum in England”, 2013.
Department for Education, “Science Programmes of Study: Key Stage 4, National Curriculum in England”, 2014.
Department for Education, “The National Curriculum in England, Framework Document”, 2014.
Department for Education, “The National Curriculum in England, Key Stages 1 and 2 Framework Document”, 2013.
Department for Education, “The National Curriculum in England, Key Stages 3 and 4 Framework Document”, 2014.
DfID, “Developing the Global Dimension in the School Curriculum”, 2000.
EU, “The European Consensus on Development: The Contribution of development Education & Awareness Raising”, 2007.
FCDO, “Annual report and accounts 2022-23”, 2023.
FCDO, “Statistics on International Development: Final UK Aid Spend 2022”, 2023.
GENE (Global Education Network Europe), “The European Declaration on Global Education to 2050”, 2020.
Hannah McGough and Frances Hunt, “The Global Dimension: A Practical Handbook for Teacher Educators”, 2012, IOE.
Louis Michel (European Commissioner for Development and Humanitarian Aid), “The European Consensus on Development”, 2005.
National Commission for UNESCO, “Education for Sustainable Development (ESD) in the UK-Current Status, Best Practice and Opportunities for the Future”, 2013.
PSHE Association, “Programme of Study for PSHE Education: Key Stages 1-5”, 2020.

【オーストラリア】

<日本語文献>

青木麻衣子、浮田真弓「<オーストラリアン・カリキュラム>を読む：5年生の英語を事例として」、北海道大学『国際教育研究紀要 24』2021年、pp. 136-148
安部大輔、山中冴子「オーストラリアン・カリキュラムにおける保健・体育が目指すもの—生涯にわたるスポーツ参加の視点から—」白梅学園大学・短期大学『白梅大学・短期大学紀要 55』2019年、pp. 53-66
甘利昌也「特集 オーストラリアの多文化主義政策」、自治体国際化協会『自治体国際化フォーラム』2010年、pp. 2-15

- 奥田久春「オーストラリアのナショナル・カリキュラム開発とグローバル化に関する考察—コンピテンシー型の能力を中心に—」三重大学『三重大学教養教育機構研究紀要 第1号』2016年、pp. 1-16
- 岡田絵里「オーストラリア多文化主義：クイーンズランド州の現状から考察する到達点と限界」、横浜市立大学国際文化研究科『国際文化研究紀要 第12号』2005年、pp. 223-228
- 国際協力機構 地球ひろば『グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査（最終報告書）』2014年、国際協力機構
- 小松友行「木村裕著『オーストラリアのグローバル教育の理論と実践—開発教育研究の継承と新たな展開—』、日本教育方法学会『教育方法学研究 第41巻』2015年、pp. 77-78
- 酒井喜八郎「オーストラリアの環境教育としてのシティズンシップ教育～ESD教育を中心に」、全国地理教育学会『地理教育研究』2015年、pp. 1-19
- 酒井喜八郎「オーストラリアの地理教育、グローバル教育、EfS教育を考える—シティズンシップ教育の視点から—」、南九州大学『南九州大学研報 49B 1-10』2019年、pp. 1-10
- 佐藤有「オーストラリアのナショナル・カリキュラム（全国共通カリキュラム）形成過程の一端—ビクトリア州のカリキュラム F-10 に注目して」、北海道教育大学『北海道大学紀要（教育科学編）第66巻 第2号』2016年、pp. 1-11
- 自治体国際化協会シドニー事務所『CLAIR REPORT No. 358 オーストラリアの多文化主義政策』2011年
- 自治体国際化協会シドニー事務所『CLAIR REPORT No. 458 オーストラリア地方自治体における多文化主義政策の実践』2018年
- 自治体国際化協会シドニー事務所『CLAIR REPORT No. 460 ビクトリア州における多文化主義政策について』2018年
- 自治体国際化協会シドニー事務所『CLAIR REPORT No. 500 オーストラリア多文化主義政策に基づく州政府及び自治体によるNPO等への助成金』2020年
- 自治体国際化協会シドニー事務所『CLAIR REPORT No. 516 オーストラリアにおける移民等に対する成人英語教育～日本における外国人等に対する成人日本語教育との比較～』2021年
- 関根政美「多文化社会オーストラリアのシティズンシップ・テスト」、日本学術協力財団『学術の動向』2009年、pp. 22-35
- 田中義隆『21世紀型スキルと諸外国の教育実践—求められる新しい能力育成』2015年、明石書店
- 遠山嘉博「白豪主義から多分主義へ」、追手門学院大学経済学部『追手門経済論集』2003年、pp. 1-18
- 増田あゆみ「オーストラリア多文化主義政策の変遷—政策をめぐる環境の変化と政府の対応の分析—」、名古屋学院大学『名古屋学院大学論集 社会科学編 第47号 第1号』2010年、pp. 83-94
- 松尾知明『21世紀型スキルとは何か—コンピテンシーに基づく教育改革の国際比較』2015年、明石書店
- 見世千賀子「オーストラリアにおけるシティズンシップ教育の展開：ナショナルカリキュラムを手がかりとして」、東京学芸大学『国際教育評論 13号』2016年、pp. 37-46
- 見世千賀子「オーストラリアのシティズンシップ教育」（第1回～第5回）、『明るい選挙推進協会『Voters』（8号～12号）2012年～2013年
- 本柳とみ子「オーストラリアにおける教員養成改革の動向—教員養成プログラムの全国統一認定制度に焦点をあてて—」、追手門学院大学オーストラリア・アジア研究所『オーストラリア・アジア研究紀要 2号』、pp. 1-14

<英語文献>

- ACARA, “Civics and Citizenship: Sequence of Achievement F-6/7”, 2015
- ACARA, “Civics and Citizenship: Sequence of Achievement 7-10”, 2015
- ACARA, “Civics and Citizenship: Sequence of Content 7-10”, 2015
- ACARA, “Economic and Business: Sequence of Achievement F-6/7”, 2015
- ACARA, “Economic and Business: Sequence of Achievement 7-10”, 2015
- ACARA, “Economic and Business: Sequence of Content 7-10”, 2015
- ACARA, “Geography: Sequence of Achievement F-6/7”, 2015
- ACARA, “Geography: Sequence of Achievement 7-8”, 2015
- ACARA, “Geography: Sequence of Content 7-8”, 2015
- ACARA, “History: Sequence of Achievement F-6/7”, 2015
- ACARA, “History: Sequence of Achievement 7-10”, 2015
- ACARA, “History: Sequence of Content 7-10”, 2015
- ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Foundation Level, My Personal World”, 2015
- ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Year 1, How my world is different from the past and can change in the future”, 2015
- ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Year 2, Our past and present connections to people and places”, 2015

ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Year 3, Diverse communities and places and the contribution people make”, 2015

ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Year 4, How people, places and environments interacts, past and present”, 2015

ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Year 5, Australian communities: their past, present and possible futures”, 2015

ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Year 6, Australia in the past and present and its connections with Asia and the world”, 2015

ACARA, “Humanities and Social Sciences Curriculum (F-6/7 HASS) Year 7, Sustainable pasts, present, futures”, 2015

ACARA, “Year F-6/7 Humanities and Social Sciences: Sequence of Content”, 2015

Australian Institute for Teaching and School Leadership, “Teacher Education Expert Panel Discussion Paper”, 2023

Australian National University, “The 2022 AID BUDGET”, 2023 (発表資料)

Cultural Infusion, “A Review of Australian Educational Policy and Curricula for International understanding”, 2021

Education Council, “Alice Springs (Mparntwe) Education Declaration”, 2019

Education Council, “Melbourne Declaration on Educational Goals for Young Australians”, 2008

Department of Foreign Affairs and Trade, “Annual Report 2021-22”, 2022

Department of Education, Victoria State Government, “Students Leaders for Multicultural Inclusion – Strengthening Multicultural Inclusion through Student Voice, Agency and Leadership”, 2023

Department of Education, Victorian State Government, “Victorian Essential Learning Standards: Overview”, 2005

NSW Education & Communities, “Intercultural Understanding Through Texts English K-10 Resource-Characterisation, Representation, Perspectives, Interpretation”, 2014

NSW Education Standards Authority, “Aboriginal Studies Years 7-10 Syllabus”, 2001

NSW Government and Henry Parkes Equity Resource Centre, “Henry Parkes Equity Resource Centre”, (n.d)

NSW Government, Education, “Learning and Teaching Directorate – Equity, Using Picture Books for Intercultural Understanding – Learning Across the Curriculum – Geography, History, English, Creative Arts K-10”, 2017

Rooty Hill High School, “Reconciliation Action Plan”, 2022

Victorian Curriculum and Assessment Authority, “Australian and Global Politics Study Design”, 2016

Victorian Curriculum and Assessment Authority, “Religion and Society Study Design”, 2022

Victorian Curriculum and Assessment Authority, “Sociology Study Design”, 2016

【その他】

<日本語文献>

経済協力開発機構 (OECD) 『カリキュラムのリ (再) デザイン』 2021 年

<https://www.oecd.org/education/2030-project/contact/japanese-translation-brochure-thematic-reports-on-curriculum-redesign.pdf>

センゲ、P (枝廣淳子訳) 『学習する組織—システム思考で未来を創造する』 英治出版、2011 年

永田佳之 『東アジアにおける「持続可能な開発のための教育」の学校ネットワーク構築に向けた研究 (最終報告書)』 2012 年

永田佳之 「新ユネスコ教育勧告の要点：可能性と課題」 (発表資料)、2023 年

丸山秀樹 「研究ノート：ユネスコスクール・ネットワークに見られる持続可能性：バルト海プロジェクトと大阪 ASPnet を事例に」、国立教育政策研究所 『国立教育政策研究所 器用 第 143 集』 2011 年、pp.183-195

<英語文献>

Senge, P. “Discussion of ‘Learning Organization’: Peter Senge View Analysis”, 2006.

UNESCO, “Draft Revised 1974 Recommendation concerning Education for International Understanding, Cooperation and Peace and Education relating to Human Rights and Fundamental Freedoms”, 2023.

UNESCO, “Recommendation concerning Education for International Understanding, Co-operation and Peace and Education relating to Human Rights and Fundamental Freedoms”, 1974.